

# 外環journal

No.2

平成12年9月発行  
〔発行所〕



建設省関東地方建設局  
川崎国道工事事務所

〒213-8577  
神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷2-3-3

## アンケート調査の結果を報告します

### 「首都圏の社会資本整備と東京外かく環状道路(外環)に関するアンケート調査」

#### 集計結果がまとまる



集計を終えたアンケート用紙

建設省と東京都では、今年2月～3月に「首都圏の社会資本整備と東京外かく環状道路外環に関するアンケート調査」を実施しました。  
この調査は、首都圏における道路などの社会資本整備の評価、「外環」の認知の度合い、新しい検討方法についての皆様のご意見などを把握するために行ったものです。  
ご協力をいただきました地元の方々をはじめとする多くの方々にお礼を申し上げます。今回、回収したアンケートの集計が完了いたしましたのでその概要をご紹介します。

#### 建設省と東京都が実施した今回の調査では、全体で23の項目があり、主に次の三点について調査を行いました。

- 一、首都圏における道路などの社会資本整備に関する評価
- 二、「外環」の認知の度合い
- 三、建設省と東京都が計画している新しい検討方法

#### 首都圏の渋滞については？

このうち、「道路などの社会資本整備の評価」については、次のような評価が出ています。例えば、「首都圏の渋滞状況(質問3)」では、非常に渋滞がひどいと思う…35.0.9%、無回答

#### 「新しい検討方法」については？

質問21の関越道(大泉)から東名高速の東京都区間の「外環」計画について「新しい検討方法で検討を行う」という結果は次のようになっています。

(注)新しい検討方法とは、都市計画や環境アセスメントなどの手続きに入る前の計画づくりの初期段階から、関係する自治体や地域住民の方々など多方面の人々に対し、広く情報を公表し、情報を共有した上で、ワークショップ、アンケート調査など多様な手段で、意見や意向を把握し、その結果を分類、整理して公表するなど、住民と行政の双方のコミュニケーション活動を展開し、それらを計画づくりに反映させること。



外環大泉IC付近

#### 住民団体との話し合いが始まる

さる4月28日と7月28日、外環に関する地元住民団体と東京都、建設省との話し合いが行われました。  
一回目の話し合いは三鷹市役所第二庁舎で、二回目は世田谷区総合支所において行われ、外環道路反対連盟など住民5団体の代表と、東京都、建設省の担当者が出席しました。この話し合いは今後も継続して行われることになっていきます。〔4面〕

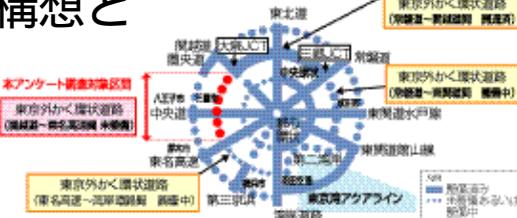


第1回目の話し合いは三鷹市役所で行われた

#### 東京外かく環状道路(外環)関越道～東名高速間のこれまでの経緯

昭和47年	7月	都市計画決定〔東京・埼玉圏圏域から東名高速まで〕
昭和48年	10月	建設大臣が「地元と話し合える条件の整うまでは先行すべきではない」との発言を行う
平成4年	11月	和光IC～京越道開通
平成6年	3月	関越道～和光IC開通(関越、東北、京越道が連絡される)
平成9年	9月	建設省と東京都による「第1回東京外かく環状道路協議会」で「地下構造を有力な要素とし、関越道付帯部の意見を聞きながら計画の具体化を図っていく」とを確約
平成10年	10月	「第2回首都圏協議会」で「地域の対策性、まちづくりの観点から外環や地上部とのあり方について調査区市民の意見を聞いていくと共に計画の具体化に向け意見交換、検討を行っていく」とを確約
平成11年	3月	東京都建設局・関越区市民からなる「東京外かく環状道路とまちづくりに関する連絡会」を創設
平成11年	10月	石原都知事、武蔵野市、練馬区の現地を視察
平成12年	12月	石原都知事、都議会定例会で「自動車専用道路の地下化を基本」として計画に盛り込むことを表明
平成12年	2～3月	「首都圏の社会資本整備と東京外かく環状道路(外環)に関するアンケート調査」を実施
平成12年	4月	「東京外かく環状道路に関する地元団体との話し合い」を開始

## 「3環状9放射」の高速道路ネットワーク構想と東京外かく環状道路(外環)



外環(関越道～東名高速間)へのお問い合わせは右記にて受け付けています

建設省関東地方建設局 川崎国道工事事務所調査第一課  
TEL・FAX 044-888-6417 (外環専用ダイヤル) E-mail Kawak60@kt.moc.go.jp  
http://www.kt.moc.go.jp/kawakoku/gaikan/  
東京都都市計画局 施設計画部街路計画課  
TEL 03-5388-3294 FAX 03-5388-1354  
http://www.toshikei.metro.tokyo.jp/douro/

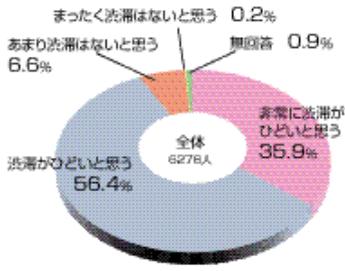
# 「首都圏の社会資本整備と東京外かく環状道路（外環）に関するアンケート調査」結果の概要

## 社会資本・環状道路の整備

## 新しい検討方法等への「意見

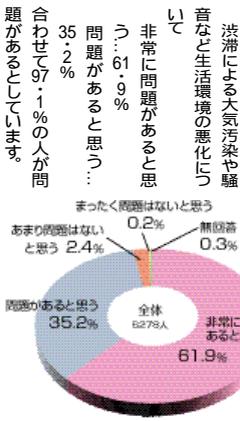
【問3】首都圏の渋滞状況についてどのように思っていますか。次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。

首都圏の渋滞状況について、非常に渋滞ひどいと思う人が35.9%、渋滞がひどいと思う人が56.4%であり、合わせて92.3%の人が首都圏の渋滞をひどいと思う。



【問6】幹線道路などの沿道では大量のクルマの通行とこれに伴う渋滞により、大気汚染や騒音など生活環境が悪化しているところがあります。このような生活環境の悪化についてあなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。

大量のクルマの通行と渋滞による大気汚染など生活環境の悪化について、「問題があると思う」と答えている人が約97%。



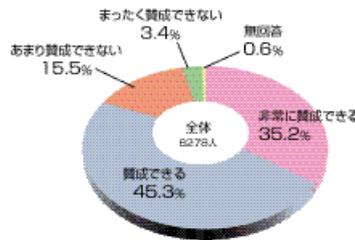
【問7】首都圏における交通対策として、道路や公共交通の整備についてはいろいろな考え方がありますが、次のような意見について、あなたはどのように思いますか。それぞれについて1つずつ、をつけてお答え下さい。

以下の意見に「まったくそう思う」や「ややそう思う」と答えた人は合わせて

- ・高速道路や幹線道路などの整備を進めるべきだ...約68%
- ・身のまわりの地域の道路を整備すべきだ...約73%
- ・ウーバーやライドシェアに料金を徴収する措置、ライドシェアの規制をとり、都心へのクルマの流入量を抑制すべきだ...約42%
- ・工渋滞を解消するために、相乗り、時差通勤、物流の輸送効率向上など、適切なクルマの利用方法を進めるべきだ...約75%
- ・才地下鉄や鉄道などの公共交通をもうと整備すべきだ...約69%
- ・力地域の足となるバスなど地域の公共交通を整備すべきだ...約70%

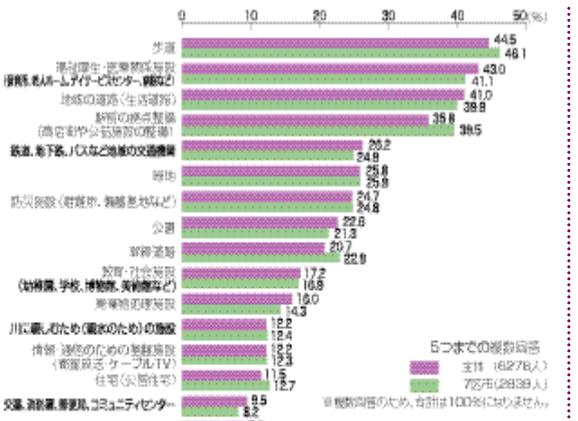
【問8】環状道路には放射方向の道路同士を結び、都心を通過するだけのクルマをバypassさせる役割があります。東京では都部高速中央環状線や環状7号線、環状8号線がそれぞれあります。ところが現在ある環状道路は機能的に渋滞しています。そのため都心を通らないうち移動できるように、新たに環状道路を整備すべきだという意見がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。

環状道路を整備すべきだという意見に対して、非常に賛成できる人が35.2%、賛成できる人が45.3%であり、合わせて80.5%の人が賛成すべきと考えている。一方、あまり賛成できない人が15.5%、賛成できない人が3.4%であり、合わせて18.9%の人が賛成に賛成できないと答えている。



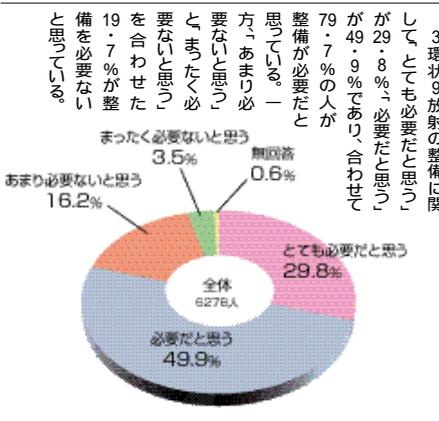
【問9】あなたのお住まいの地域で整備が必要と思われる施設はありますか。次の中から5つ以内を選んで、をつけて下さい。

地域に必要な施設は、「歩道」や「福祉厚生・医療関係施設」、「地域の道路（生活道路）」。



【問11】首都圏においてこのような高速道路を今後整備することは必要だとお考えですか。次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。

3環状9放射の整備に関しては、必要だとお考えの人が49.9%であり、合わせて79.7%の人が整備が必要だと答えている。一方、あまり必要ないとお考えの人が16.2%、必要ないとお考えの人が3.5%であり、合わせて19.7%が整備を必要ないと答えている。



「首都圏の社会資本整備と東京外かく環状道路（外環）に関するアンケート調査」の概要

アンケートは、次のような概要で行われました。

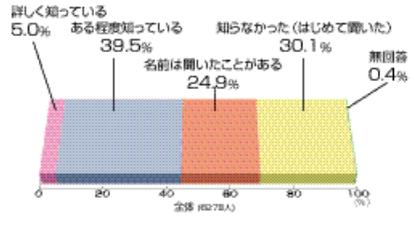
- 実施期間：平成12年2月11日（金）～3月30日（木）
- 調査対象エリアと調査人数：直接影響を受ける外環沿道7区市（練馬区、杉並区、世田谷区、武蔵野市、三鷹市、調布市、狛江市）を中心にアンケートの数を多く設定しています。また、広域的な範囲（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）についても、客観的な意向を把握出来るよう、人口規模に応じてアンケートの数を設定し、調査人数を7019人としました。
- 調査作業方法：調査人数（7,019人）を確保するため、予備調査対象者（3,530人）を準備しました。調査にあたり、転居、長期不在などの理由により「調査不可能」な場合に、予備調査対象者から機械的に繰り上げて、調査人数（7,019人）を確保しました。本号でご紹介しているのは、この調査人数1,019人（回答者6,278人、無回答者41人）を対象とした結果です。なお、予備調査対象者を含めた全数は10,549人であり、全数から不可能188人を除いた調査対象者は8,361人です。8,361人（回答者7,251人、無回答者1,110人）の結果もホームページで参考公開しています。その集計結果と本号でご紹介している集計結果がおおむね一致しています。
- 調査対象：20歳以上
- 調査手法：訪問調査法（調査員が調査対象者の自宅を訪問し、調査票を留置し、数日後、再訪問し調査票を回収する方法）
- 抽出方法：住民基本台帳より各種世帯調査で一般に用いられている公正で偏りのない抽出方法（層化二段無作為抽出法）によって抽出しています。
- 調査主体：建設省関東地方建設局川崎国道工事事務所、東京都都市計画局施設計画部街路計画課

アンケート回答者6278人の属性

- 性別：男性53.7%、女性49.3%
- 年齢：20-29歳16.6%、30-39歳20.8%、40-49歳20.0%、50-59歳24.1%、60歳以上18.5%
- 職業：多い順に会社員・公務員・団体職員42.5%、専業主婦20.7%、自営業3.9%、パート・アルバイト10.3%、無職6.7%、学生2.8%、自営業2.4%、その他0.7%、無回答0.1%。
- 居住年数：1年未満3.3%、1～5年未満17.3%、5～10年未満14.5%、10～20年未満19.8%、20～30年未満21.3%、30年以上23.4%、無回答0.4%。
- 世帯の自動車保有：保有73.5%、保有なし24.9%、無回答1.6%。  
グラフの合計値四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

【問12】 東京都内では、開通後大塚から東名高速間、東京外環状道路(外環)が計画されていますが、この計画についてあなたはこの程度(程度)を存じますか。次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。

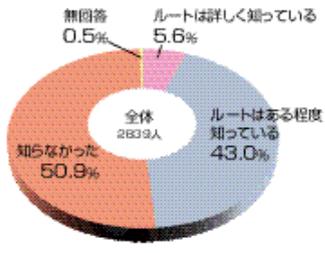
「外環」を「詳しく」あるいは「ある程度」知っている人は約45%。



【問14】 「外環の開通前から東名高速間の都市計画決定されたルート」を存じますか。次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。  
(7区市民のみ2839人を対象とした質問)

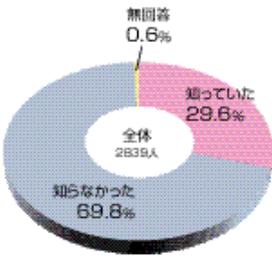
7区市民で「ルートを知っている」人は約49%。

東京都区間の「外環」のルートを知っている人が43.0%あり、合わせて48.6%の人がルートを知っています。



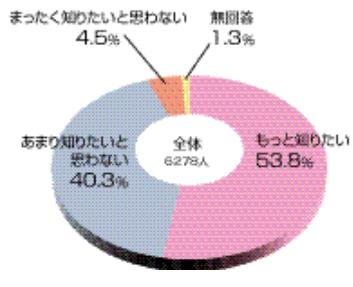
【問15】 この外環の東京都区間について、当初計画の高架橋を見直し、地下橋を基本として検討していること(この「地下橋」を存じていたか) 次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。  
(7区市民のみ2839人を対象とした質問)

7区市民で「外環」は地下橋造を基本として検討していることについて、「知っている」人は「人」である。



【問17】 あなたは「外環」について「もっと知りたい」と思いますが、次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。

「外環」のことを「もっと知りたい」と思っている人が40.3%、「もっと知りたい」と思わない人が4.5%、「あまり知りたいと思わない」人が40.3%、「まったく知りたいと思わない」人が1.3%。



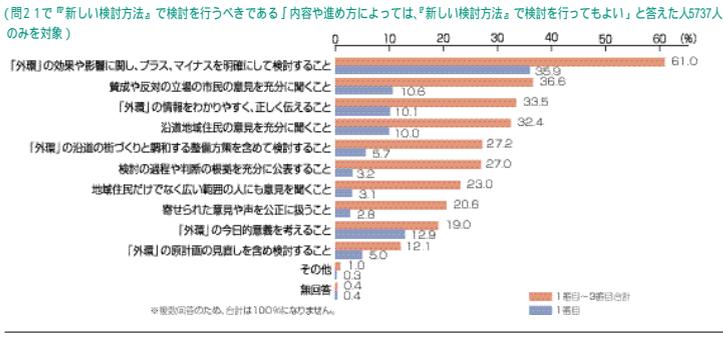
【問21】 開通後大塚から東名高速の東京都区間の「外環」計画について、「新しい検討方法」で検討を行うことを考えていますか。あなたは「この「新しい」について」どのように思っていますか。次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。

「新しい検討方法」について「何いしました。」

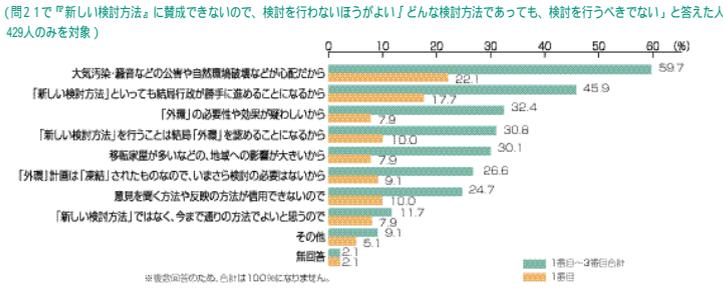
東京都区間の「外環」について「新しい検討方法」で検討を行うことについては、地域によつて「ハッキリ」という意見は33.9%、内容や進め方については、「検討を行ってほしい」という意見は57.5%であり、合わせて91.4%である。

「新しい検討方法」とは、都市計画や環境アセスメントなどの手続きに入る前の計画づくりの初期の段階から、関係する自治体や地域住民の方々など多方面の人々に対し、広く情報を公表し、情報を共有した上で、ワークショップ、アンケート調査など多様な手段で、意見や意向を把握し、その結果を分類、整理して公表するなど、住民と行政の双方のコミュニケーション活動を展開し、それらを計画づくりの反映させること。

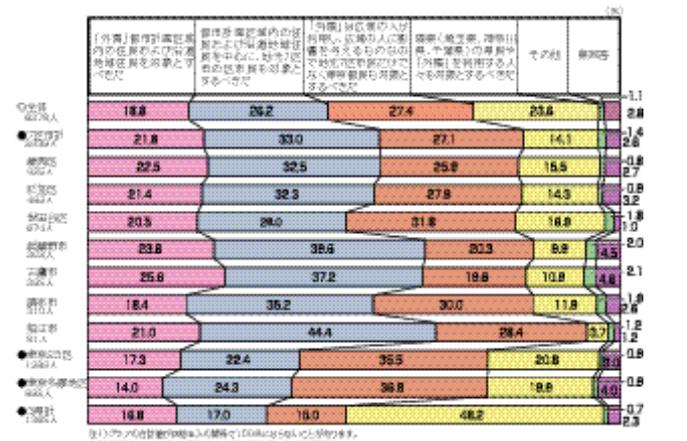
【問21-1】 「新しい検討方法」で検討を行う場合、どのような内容や進め方が重要だと思われるか。優先度が高いものから順に3つ以内まで選んでその番号を回答欄に記入して下さい。



【問21-2】 「新しい検討方法」で検討を行うことに反対する理由はどうなことでか。優先度が高いものから順に3つ以内まで選んでその番号を回答欄に記入して下さい。



【問22】 「新しい検討方法」で「外環」の検討を行う場合、どのような人々を対象にして情報を提供したり意見を募集すべきだと思いますか。次の中から1つだけ選んで、をつけて下さい。



対象者	「新しい検討方法」で検討を行うべきである	「新しい検討方法」で検討を行うべきでない	「新しい検討方法」で検討を行うべきかどうかはわからない	「新しい検討方法」で検討を行うべきかどうかはわからない	回答率
全体	33.9	57.5	3.4	1.8	3.4
7区市民	34.8	54.5	4.8	4.7	1.3
中央区	31.0	50.8	8.0	8.4	1.7
千代田区	34.2	54.4	4.8	5.2	1.4
港区	37.1	54.5	2.7	4.0	1.7
目黒区	33.7	48.5	6.3	6.3	4.2
世田谷区	35.9	54.8	2.6	4.8	2.1
杉並区	36.6	48.1	8.6	6.5	1.3
豊島区	32.4	47.1	8.8	8.8	2.9
荒川区	33.8	51.3	6.4	5.8	0.8
足立区	33.2	50.7	3.1	1.1	2.4
練馬区	27.5	50.0	7.5	5.0	4.0
西武池袋線	28.8	54.8	1.5	1.1	4.0
池袋駅西口	36.1	48.0	7.5	6.9	1.0
池袋駅東口	26.1	47.8	8.7	17.4	0.0
池袋駅南口	38.2	42.2	8.8	6.9	2.0
池袋駅北口	30.9	52.6	11.1	8.0	2.5
池袋駅西口	27.5	54.8	8.8	6.9	2.5
池袋駅東口	31.2	52.5	7.1	6.4	2.8
池袋駅南口	36.2	52.9	9.5	6.5	1.0
池袋駅北口	35.7	48.2	7.1	11.9	0.0
池袋駅西口	35.8	53.5	6.9	6.9	0.0
池袋駅東口	27.2	50.5	1.2	8.8	2.5
池袋駅南口	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
池袋駅北口	31.8	52.6	2.6	10.5	2.8
池袋駅西口	32.1	51.3	2.6	1.7	2.4
池袋駅東口	33.2	58.8	2.8	2.5	2.8
池袋駅南口	34.1	58.1	2.1	2.5	2.8

# 地元の住民団体と東京都・建設省の

4月28日と7月28日に

## 話し合い行われる

さる4月28日(金)、東京外かく環状道路(外環)に関する地元の住民団体との話し合いが、都市計画決定以来はじめて行われました。この日の話し合いでは、東京都・建設省の挨拶の後、地元の住民団体の代表が意見を表明しました。続いて7月28日(金)2回目の話し合いが行われ、前回住民側からの意見に対して、行政側から回答が行われました。

### 話し合いの第一歩として

「4月28日の話し合い」

都市計画決定以来、初めて行われたこの日の話し合いは、三鷹市役所において午後3時より約2時間行われました。建設省から関東地方建設局長高田邦彦、東京都から都市計画局成戸寿彦局長が挨拶など4名が出席しました。

この7団体は、昨年10月6日に石原東京都知事が現場を視察した際、石原都知事に要望書等を提出した団体です。

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対連盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。



世田谷区立総合支所で行われた第2回目の話し合い

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。

日付	会合名	場所
2月6日	環状道路フォーラム「世田谷区」 【成城から見える「市民のまじりの」物語】 第一巻(外環道路が)について	世田谷区立総合支所
2月9日	井の池地区住民協議会 外環計画の現在の状況等の説明	三鷹市の井の池コミュニティセンター
4月21日	元都立一丁目会 集まり 【東京外環建設(環状計画)の経験談】	都立公園電子センター
5月28日	環状道路フォーラム「世田谷区」 【外環建設の経験談】	外環の計画区画及び供用区画 外環建設協議会
7月9日	都多見地区「外環」集まり 【外環建設の経験談】	世田谷区立総合支所 民センター
7月13日	上石神井町会集まり 【外環建設の経験談】	上石神井コミュニティセンター
8月7日	三鷹市 【外環建設の経験談】	外環の計画区画及び供用区画 外環建設協議会

### 東京都、建設省から回答

「7月28日の話し合い」

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。

### 住民団体の意見表明

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。

### 東京都と建設省の挨拶

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。

### 話し合いの第一歩として

話し合いは、東京都から行政と住民の話し合いの第一歩として、外環道路反対連盟、外環道路反対同盟練馬外環道路反対同盟、上石神井三丁目外環を考える会、上石神井市民の会、上石神井町会、上石神井町会欠席に呼びかけて行われました。